

シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	8290107	
科目名	国際パートナーシップ研修	
科目名 (英語)	International Partnership Study (Southeast Asia)	
授業形態	研修	
標準履修年次	全	
実施学期・曜時限等	夏期休暇中	
使用教室		
単位数	2	
担当教員名	森川一也、	
使用言語 (☑してください)	<input type="checkbox"/> 日本語 ・ <input type="checkbox"/> 英語 ・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	オフィスアワーは定めない。メールで随時連絡可能 (morikawa.kazuya.ga@u.tsukuba.ac.jp)	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	1. コミュニケーション能力 4. 広い視野と国際生 6. 協働性・主体性・自律性
	医療	4. 医科学の研究推進能力
	国際	4. 医科学の研究推進能力 5. 国際課題の理解と対応立案能力
授業の到達目標 (学修成果)	<p>本授業科目は、日本において語学を含む準備教育を実施した後、学生を東南アジア諸国へ派遣するとともに、学生の専門分野に応じた適正技術に係る実習・研究発表等を行うことで、以下の知識・能力を身に付けさせることを目的としたものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 英語による実践的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 2 派遣国や日本の社会・文化に対する理解 3 派遣国における発展段階に応じた課題、適正技術へのニーズ等に対する理解 4 適正技術の開発・実装に向けた課題の抽出 	
他の授業科目との関連	TOEFL 演習、医科学グループワーク演習、国際感染症学、微生物学、卒業研究	
履修条件	なし。ただし応募者多数の場合は選考有り。	
授業概要	2019 年度はベトナムホーチミン市のバイオテクノロジーセンターにおいて感染症ワークショップ (8 月下旬の予定) に参加する。病院等から提供される検体を用いて病原細菌の同定や薬剤感受性試験等を現地学生らと協力して行う。	

キーワード	海外、派遣、東南アジア、感染症
授業計画	<p>ワークショップ 現地参加者と協力して、以下に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病原体同定 ・薬剤感受性試験 ・薬剤耐性遺伝子の解析 <p>講義、討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアにおける薬剤耐性問題とその解決法について
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>現地研修（100%）：講義、ワークショップ、討論</p> <p>授業外： 予習、レポート作成等</p>
単位取得要件	コース参加、レポート提出、発表
成績評価方法	成績評価は、参加学生からの報告書および発表等に基づき、授業担当教員が行う。
教材・参考文献・配付資料等	別途配布する
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	<p>参加者募集は4～5月頃を予定する。</p> <p>自費参加、またははばたけ！筑波大生等の奨学金に応募することが可能。</p> <p>白衣を持参すること。</p> <p>OSSMA, 保険加入。</p>